

share



Share Book って何？

本の持ち主（オーナー）から本を一定期間お借りしてライブラリーでシェアするしくみです。現在ライブラリーの図書の70%がシェアブックです。

自分では選ばないジャンルの本に接する機会が持てたり、自分のおススメを他の人と共有することで本を通じた交流が生まれるなど、様々なメリットがあります。あなたのお気に入りもシェアブックしてみませんか？興味がある方は研修センターにお声かけください！

本紹介

急に具合が悪くなる

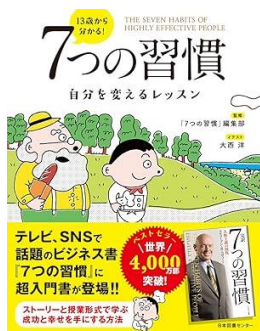
宮野真生子 磯野真穂

「もし、あなたが重病に罹り、残り僅かの命と言われたら、どのように死と向き合い、人生を歩みますか？もし、あなたが死に向き合う人と出会ったら、あなたはその人と何を語り、どんな関係を築きますか？」



がんの転移を経験しながら生き抜く哲学者と、臨床現場の調査を積み重ねた人類学者が、死と生、別れと出会い、そして出会いを新たな始まりに変えることを巡り、20年の学問キャリアと互いの人生を賭けて交わした20通の往復書簡」（文庫本帯より）

カンヌ国際映画祭での最優秀女優賞受賞でも話題となった映画の原作本です。



13歳からわかる！

7つの習慣 自分を変えるレッスン

世界4000万部、国内240万部のベストセラー ビジネス書の金字塔として世界で読み継がれている『7つの習慣』の超入門書が登場

原書のエッセンスをぎゅっと煮詰め、13歳でも分かるようにやさしく解説しています。

気軽に読めますが、キーフレーズや重要なポイントはしっかり押さえているので、読み応えは十分です。「原著は少しむずかしそう」という方におすすめ！

My Best Book

お気に入り、心に残っている、力が湧いた…そんな本紹介していただきます。

第1回は池戸理事長のMy Best Bookです。

極大射程（上・下） スティーブン・ハンター

ミステリー好きで、「このミス」入賞作品は欠かさず読みあさる私にとって、いまなお最高傑作だと思っている作品。



初版はもう30年近く前ですが、仕組まれた罠をものに見事にひっくり返すラストにスッキリ。主人公はベトナム戦争の退役軍人で、銃に関する蘊蓄が半端なく披露され、頭脳派ミステリーであり、大藪春彦のハードボイルドでもある。まあ、筋肉と脳味噌の両方が満たされます。日本人には理解しづらい、アメリカ人と銃の共生関係についても触れることができる。

（池戸淳子）

「極大射程」は「このミステリーがすごい」（宝島社）の2000年海外部門1位の小説で「ザ・シューター／極大射程」として映画化もされています。ちなみに、この年の「このミス」国内部門は1位が「永遠の仔」天童荒太 2位が「白夜行」東野圭吾です。

池戸理事長は、他にも「京極夏彦」の大ファンとのこと。蒸し暑い夏にゾックとする怪異の世界を体験してみたい方はこちらもチェックしてみてください。

オリジナル葉 イラスト募集！

ライブラリーで本を借りた方にお渡しするライブラリーオリジナル葉のイラストを募集します
※協会内部の方に限り
自薦他薦問いません
ご自身のイラストを葉にしてみたい、身近にイラスト（絵）が上手な人がいる、という方はぜひ研修センターまでお知らせください

